	第298号 平成28年9月10日発行
		公益社団法人 三田市シルバー人材センター
		〒669-1323
		三田市あかしあ台5-32-2
		電話 564-7501
FAX 553-1300		
Eメール sandasilver631015@sandasc.org		
ホームページ http://www.sandasc.org/		



第3回 理事会開催

8月26日に開催された第3回理事会は、理事全員出席のもと開催されました。

今回、大きな議題は有りませんでした。各部会や委員会の報告の中にも、今後の事業運営に関して重要な内容が含まれており、役員で共通認識するところとなりました。

総務財政部会では、理事等の役員推薦に関する取り組みについて、市の体制や、会員の意識等、設立当初との現在の状況にかなり変化があり、今後の見直しを必要とする状況です。

業務部会では、発注者向けのアンケート調査実施に向けた検討を行っており、利用者の満足度把握、新規発注者獲得等を目的に、今後の事業展開に反映させたい考えです。

福利厚生部会は、例年どおりの計画実施となりますが、今後、効率的に事業を運営するにあたり、準備資料を整えるとのことでした。

安全・適正就業推進委員会では、以前からの検討事項である職種別安全就業基準及び、ペナルティ制度の検討など、十分な検討を行い進めていくとのことでした。

協議事項としては、介護保険法の改正に伴い実施される、「介護予防日常生活支援総合事業」について、シルバーとしての参入可否をはじめ、参入後の事業内容も踏まえ検討した結果、来年4月の開始予定に合わせて参入することで可決しました。

その他にも活発な意見の交換があり、約3時間で閉会となりました。

次回、理事会は10月を予定しています。



第2回 安全・適正就業委員会開催

8月29日に委員会が開催されました。今回のテーマは「ペナルティ制度の早期実施」です。

その目的は、当センターの安全就業基準から逸脱したり、重大な過失による傷害又は賠償事故を抑制することです。その思いは毎年「事故発生ゼロ」を目指しながら、未だに達成できていない現状を改善する事に他なりません。

少しでも就業会員の「安全」に対する意識を改善し、事故による被害者はもちろんのこと、共働作業の会員や、発注者又は経済的な負担など、さまざまな方面に迷惑をかける意識を持って、就業してもらうこと。自助努力で事故防止出来ていた頃は良いのですが、既にその範囲を超え、ペナルティ制度を導入しなければならなくなった現状を、会員の皆さんが認識することが大切だと思います。

事故は、誰も起こそうとして発生する物ではありませんが、既に本年度も、数十万円の賠償事故が数件発生し、保険対応として手続きしているところです。

「ペナルティ制度」は同一就業会員が繰り返し事故を起こしたり、安全就業基準を逸脱して事故を起こすと、就業停止や職種変更等の厳しい処分を検討しますので、できる事なら本制度を使われないことを強く望みます。

新理事紹介

前月号に引き続き、今回はフラワータウン地域班の理事である黒瀬 浩（くろせ ひろし）理事にお伺いをしました。



平成19年11月に入会して9年になりますが、このたび野入前理事の後任として理事に選出されました。シルバー人材センターの事業活動に少しでも貢献できますよう努めさせていただく所存です。

昨今の少子高齢化が急速に進む時代背景を受け、当センターもシルバー世代の活躍の場を創出し拡大する社会的な使命があります。その使命を実現するために組織力の強化を図ることが重要な課題です。風通しの良い能動的な組織体制を構築する事。自由闊達に議論して決めた事は確実に実行する活力に充ちた組織風土を作り上げる事。問題意識を共有化して組織運営する事。それらを継続することによって相互信頼が高まり組織力の向上

が図られます。社会からの期待に応えられるシルバー人材センターを目指して、微力ではありますが精一杯努力を重ねてまいります。皆さまのご指導、ご支援をお願い致します。

第1回目の安全パトロール8月19日実施

安全パトロールは剪定作業や除草作業の始まる5月頃から終了するまではほぼ毎月実施されます。安全・適正就業推進委員会(委員長 岡田理事)の理事と担当職員が武庫川右岸の除草作業と、2軒の個人宅の剪定作業の安全パトロールを行いました。前年度の作業別安全基準のヘルメットの着用の有無と今年は特に暑さ対策、水分補給と休憩の取り方でした。会員の“安全は何よりも優先する。”の意識のもと全員ヘルメットの着用はされていました。今後とも体調管理と安全に注意され“事故は今後一切起こさない”との意識のもと作業されることをお願いします。



ウディタウンの「えるむプラザ」でPR!

毎年恒例となっている「えるむプラザまつり」が、8月27・28日の2日間で開催され、シルバーも会場の一角を借りてPR活動を行いました。

「竹炭」「EMしゃぼん」の販売と、「子育てカンガルー」の手作りゲームでの参加です。

例年猛暑に見舞われるイベントですが、今回は曇り空でその心配はなくなりました。

しかし、雨の天気予報もあって人出が少なく、売上の心配をしなければならない状況となりました。

それでも、会場を訪れる人に熱心に商品の説明をしたり、チラシを配ったりと懸命の努力の結果、かなりの売上となり、特に昨年度から作り始めた、固形の「EMしゃぼん」の売上が伸びたようです。

天候不順のなか、2日間参加された会員の皆さん、本当にご苦労様でした。





漢字 あら・かると

漢字成り立ち・「人」「親」 ホンマ？

昔、「3年B組金八先生」という人気テレビドラマがありました。そこで話題となったのが、「人」「親」の字の成り立ちです。

先生は『人という字は、人がお互い支え合っている、そんな姿から生まれた文字なんだ！』そう力説していました。



人生訓としては正解なのでしょうが、漢字の成り立ちからすると、これは間違いです。



甲骨文字

最古の文字である甲骨文字をみてもわかるように、これは人が横を向いて腕を下げている姿を映したものです。

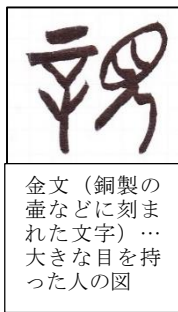
つぎに、親という字を見えます。これも金八先生は、『遊び呆けてまだ帰らない我が子を、心配しながら木の上に立って見ている状態を表わしているのだ！』と解説し、いつの時代でも親の愛情は深いものだと言っていました。親の愛情は正しい見方ですが、文字の由来は間違いです。



親という字は、辛と木と見を組み合わせた文字です。辛は把手

(とって) のついた大きな針の形です。この針を投げて位牌をつくる木を選び、その新しく切り出した木でつくった位牌を見て拝む形が「親」です。新しい位牌を拝むのは親しい関係の者ですから、したしい、したしむの意味にもなります。

(なお、金八先生こと武田鉄矢はこの「人」と「親」の講義が間違いであることを認めて、2015年4月20日に謝罪会見していました。)



(T・N記)



今日は尺八同好会「竹の響(ね)サークル」訪問です。会員は11名で、年に数回の演奏会を開催されています。演奏できる曲目は250曲を超えます、とお聞きしてびっくり！

インタビューに応じてくださったメンバーの中で、まずは、サークルの中で入会最長15年の大和田正夫(おおわだ まさお)さん。シルバー事務所でお仕事をされているとき、練習する尺八の音色の素



大和田さん

晴らしさに心を動かされ、入会されたそうです。同じような時期に入会された櫻井淳(さくらい きよし)さんには、今まで活躍された歴史のいっぱい詰まった写真や、尺八に関する珍しい資料なども紹介していただきました。尺八の流儀は伝統の都山流とのこと。



櫻井さん

8年前に入会され、現在は代表をされている筒井善雄(ついで よしお)さん、最後は昨年サークルに入られ、現在は会計をされている坂井健二(さかい けんじ)さんは元々楽器好き、でも3ヶ月程音が出なく猛特訓の末、やっと音が出るようになりました、と苦笑いです。



坂井さん



筒井さん

尺八の魅力って何でしょうか？と皆さんにお尋ねすると、筒井さんは「金属楽器では出せない音色、わび、さびを感じさせる音感がいいですね。また障子1枚、ふすま1枚越しに聴くと、さらに雅やかな音に聞こえます。」とのことでした。

皆さんが笑顔になるときはどんな時でしょうか？とお聞きすると、「やはり演奏会などで自分も気合が乗って存分に尺八を吹きこなせたとき、それと、曲に合わせてお客様が大きな声でご唱和くださったとき、本当に尺八を吹くことができて良かったな、と思います。」とおっしゃっていました。

また、「練習時は真剣で笑顔はありませんが、メンバーの誕生月の最後の練習日にみんなでお祝いします。そのときは全員がとびっきりの笑顔になります。」と裏話をご披露されました。

(T・N記)



ティーブレイク



虫の音

♪ あれ松虫が鳴いている
ちんちろちんちろちんちろりん
あれ鈴虫も鳴きだした
りんりんりんりんりんりんりん
秋の夜長を鳴き通す
ああおもしろい虫のこえ♪

皆さんのお家の周りで秋の虫が鳴いていると思いますが、これはオスたちが求愛のために翅（はね）を摺り合わせて鳴らしているものです。まるで素敵な楽器を持っているようです。テレビを消して小さな演奏会に耳を傾けてみてはいかがでしょうか。



松虫 ♪ チンチロリンチンチロリン ♪
「待つ虫」という意味の名前



鈴虫 ♪ リーンリーン ♪
鈴を打ち合わせるように鳴きます



クツワムシ ♪ ガチャガチャ ♪
馬の口に付けるクツワの音と似た鳴き声からついた。



ウマオイ ♪ スイッチョンスイッチョン ♪
馬を追い立てる声に似ているので「馬追い」と命名された。



キリギリス ♪ チョンギースチョンギース ♪
足音が聞こえると鳴きやんでしまいます。



コオロギ ♪ リリリリ ♪
いかつい顔が閻魔大王に似ています。



カンタン ♪ リーリリリリリリリリ ♪
鳴く虫の女王と言われるくらい美しい声で鳴きます。

秋の夜長、虫たちの鳴き声に耳を澄ましてみませんか？
(YouTubeで聞く「虫のこえ」も癒されますよ。)

(A・O記)

新入会員紹介 (順不同・敬称略)

今回は11名の方が会員登録されました。

個人情報の為、お名前は伏せています。

次回の配分金の支払いは 10 月 11 日(火)です

項目	平成27年度実績	平成28年度(速報)
会員数(人)	1, 032	1, 057
受注件数(件)	1, 352	1, 259
契約金額(円)	193, 896, 902	212, 838, 261

(平成27年度・28年度8月度)

9月12日からの行事予定

- 16日(金) 福利厚生部会 (9:30～)
- 21日(水) 仕事の相談日 (10:00～)
- 10月 8日(土) アンテナショップ (10:00～)
- 14日(金) 入会説明会 (13:30～)
- 19日(水) 仕事の相談日 (10:00～)

伝言板

「ひえ～」で涼感満点

暑い暑いと言っているにもかかわらず「そうだ行ってみよう」日本有数の吊り橋 {谷瀬の吊り橋} へ



高さ 54m長さ 297.7m渡り始めは「これきし」と思ったのですが、真ん中当たりに来ると川風に吹かれ足元の板

(幅 20cm, 厚み 1.5cm, 長さ 1.8mの板を横 4 枚ならべている)と目の先との板とが不規則に揺れます。どうバランスを取ってよいものやら、地元のお年寄りは電動車いすで悠然と渡って行きます。勿論道をゆずりません。地元の方々がお金を出しあって架けた橋だからです。帰りは少し上手に渡れました。その後、日本 100 選の滝、笹滝にマイナスイオンを浴びにゆき、十津川温泉 (源泉 87℃) の露天風呂 (階段 70 段を川岸までおける) で冷や汗を流し帰路につきました。次回はどの吊り橋をねらおうかな。(M・Y)